

平成 31 年度 国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	4 単位	年次	1 年次
使用教科書	「精選 国語総合 改訂版」 (三省堂)						
副教材等	「意味で覚える漢字トレーニングセレクト」 (いいずな書店)、「現代文解法のテクニック 1 (基礎編)」 (啓隆社)、「基本の古文 大学入学共通テスト対策版」 (尚文出版)、「記入して覚える 古典文法クリアノート」 (尚文出版)、「古典常識も学べる 新明説 総合古典文法」 (尚文出版)、「ニューエイジ漢文基礎」 (第一学習社)、「カラー版新国語便覧」 (第一学習社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

学習方法としては日々の授業に臨むにあたり提示される課題に主体的に取り組みましょう。授業では、教科書からの課題の他に定期的に行われる漢字の小テストにもしっかり取り組み、必要な語彙も身に付けていくようにしましょう。

2 学習の到達目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	・ 伝え合う力を高めるために、言語文化に対する関心を深めようとし、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	・ 目的や状況に応じて相手の話を聞いたり、考えを話したりすることで自分の考えを深めている。	・ 目的や状況に応じて適当な表現を選択し、文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	・ 文章を正確に読み取り、目的に応じてさらに深く読み込むことで自分の考えを深めている。	・ 漢字や熟語、ことわざ、慣用句などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	・ 授業中の取り組み ・ 宿題や提出物の状態 ・ 出席状況	・ 授業中の取り組み ・ 相互評価 ・ 授業での発表の様子	・ 授業中の取り組み ・ 定期テスト ・ 提出物の状態	・ 定期テスト ・ 宿題や提出物の状態など	・ 小テスト ・ 定期テスト ・ 宿題や提出物の状態

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動（現代文分野）

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	随想	『ぐうぜん、うたがう、読書のススメ』 ・「読書について、筆者の言葉を通じて考えようとする。 ・述べられた事例に着目し、筆者の考えを読み取る。 ・主な常用漢字について使い方を理解する。	○			○		a 「本を一冊手に取るという場面」に満ちている「一回性」の出会いの意味について考えを深めようとしている。 d 述べられた事例から、筆者の考えを読み取っている。 e 主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている	定期テスト 宿題 授業の取り組み 出席状況 提出物の状態
	評論	『自然をめぐる合意の設計』 ・「自然」をめぐる「遠景の語り」と「近景の語り」という相反する考え方について興味と関心を持つようとする。 ・筆者の考えを踏まえ、「近景の語り」と「遠景の語り」の相容れなさについて読み取る。 ・読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。	○	○		○	a: 「自然」をめぐる「遠景の語り」と「近景の語り」という相反する考え方について興味と関心を持つようとしている。 b: 論理の展開から、筆者の考えを理解している。 d: 読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。 e: 本文中の語句の意味などの知識が身につけている。	定期テスト 宿題 授業の取り組み 出席状況 提出物の状態	
	評論	『水の東西』 ・二項対立的な評論の読み方を知る。 ・水を中心に見た西洋文化と日本文化の差異を読み取る。 ・本文から他国の文化と自国の文化の差異を知り、理解を深める。	○	○		○	○	a: 自国と他国の文化の差異を知り、理解しようとしている。 b: 西洋文化と日本文化の差異を本文から読み取り、具体的にどのような差異が本文中に挙げられているか交流している。 d: 二項対立的な評論の読み方を身に付けている。 e: 文化の違いを理解している。	定期テスト 宿題 授業の取り組み 出席状況 提出物の状態

	小説	『青が消える』 ・小説の読み方を知る。 ・村上春樹に対する理解を深める。 ・登場人物の心情や行動を理解し、夢幻的な世界観を読み味わう。	○					○ ○	a: 小説を読み味わおうとしている。 b: 登場人物の心情や行動を周りとの交流の中で読み取っている。 d: 小説の読み方を習得している。 e: 村上春樹についての知識を身に付けている。	定期テスト 宿題 授業の取り組み 出席状況 提出物の状態
二学期	短歌・俳句	『その子二十一短歌十六首』 ・短歌の理解、鑑賞の仕方を知る。 ・それぞれの短歌について、表現されている情景や感動の中心を読み取る。 ・自分の出来事や感情を短歌として表現し、他の生徒と交流する。 ・短歌についての基礎的な知識を身につける。	○					○	a: それぞれの短歌の内容を理解しようとしている。 b: それぞれの短歌について、その情景や感動の中心について、整理して説明している。 c: 短歌を作って他の生徒と鑑賞しようとしている。 d: 韻律や句切れなどの、短歌の基礎的な構造を読み取り理解している。 e 短歌の基礎的知識を身につけた	定期テスト 宿題 授業の取り組み 出席状況 提出物の状態
	評論	『言語は色眼鏡である』 ・「言語」は、それが話される社会の世界観を反映しているという考えについて問題意識を持つ。 引用事例に着目し、筆者の主張を読み取る。 ・読むことに必要な概念を理解し、使いこなせる。	○					○ ○	a: 「言語」は、世界観を反映した「色眼鏡」であることを理解しようとしている。 d: 引用された事例から、筆者の考えを理解している。 e: 読むことに必要な概念を理解し、使いこなせている。	定期テスト 宿題 授業の取り組み 出席状況 提出物の状態
	小説	『羅生門』 ・小説の読み方を知る。 ・登場人物の性格・心情・行動を本文から読み取る。 ・芥川龍之介について知る。 ・本文の一部を書き換え、その作品について交流する活動を通し、内容の理解を深める。	○					○ ○	a: 登場人物の性格・心情・行動を読み取ろうとしている。 b: 本文の内容を踏まえ、書き換えたものを基に交流ができる。 c: 本文の内容を読み取り、理解した上で物語の書き換えができる。 d: 内容を読み取ることができる。 e: 語句等を知り、作者についての知識を身に付けている。	定期テスト 宿題 授業の取り組み 出席状況 提出物の状態

	評論	『コインは円形か』 ・言語表現について関心をもつ。 ・文章に用いられている表現技法の特徴を捉える。 ・常用漢字の読みに慣れる。	○			○		a: レトリックに関心を持ち、その効果について考えようとしている。 b: レトリックについて調べ、相互に発表する。 d: 筆者の主張や文章の内容を捉え、レトリックとは何かを理解している。 e: 常用漢字の正しい音訓を身につけている。	定期テスト 宿題 授業の取り組み 出席状況 提出物の状態
三学期	評論	『命は誰のものなのか』 ・筆者が述べる、分配されたものとしての「命」という考え方を理解しようとする。 ・引用事例および筆者の論理展開に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。 ・読むことに必要な文章の組み立てについて理解する。	○			○		a: 筆者が述べる、分配されたものとしての「命」について理解しようとしている。 b: 引用事例および筆者の論理展開に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取っている。 d: 読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。 e: 評論の読み方を習得する。	定期テスト 宿題 授業の取り組み 出席状況 提出物の状態 定期テスト 宿題
	小説	『空缶』 ・人物の心情や行動を理解し、場面の推移を捉えながら、登場人物の原爆との向き合い方について理解しようとする。 ・描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を理解する。 ・主な常用漢字について使い方を理解する。	○			○	○	a: 「私」を含めた6人が過ごしてきた戦後と心情の変化を理解し、自分の考えを持とうとしている。 b: 当時の原爆投下について調べ、互いに発表し意見を交換する。 d: 時間軸や語りの視点に注意して、作品世界の状況を把握し、人物の考え方とその変化を理解している。 e: 主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	授業の取り組み 出席状況 提出物の状態

学習の活動（古典分野）

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期		『検非違使忠明』 ・古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・歴史的仮名遣い、文語と口語の違いを理解する。	○			○	○	a:声に出して本文を読んでいる。 古文特有の語の意味を古語辞典で調べている。内容を理解しようとしている。 d:内容を展開に即して理解している。 e:歴史的仮名遣いを理解し、正しく音読できる。古文の特有の語や文法を認識している。	定期テスト 宿題 授業の取り組み 出席状況 提出物の状態
		『絵仏師良秀』 歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取ろうとする。 歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取る 歴史的仮名遣いと用言について理解する。	○ ○			○	○	a 歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取ろうとしている d:歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取っている e:歴史的仮名遣いと用言について、特に動詞の活用について理解している	定期テスト 宿題 授業の取り組み 出席状況 提出物の状態
		『訓読に親しむ』 ・漢文を学習する意義を知り、今後の学習に意欲を持つ。 ・漢文を自国の文化に取り入れた先人の工夫を理解し、今後の学習のポイントを理解する。	○ ○			○	○	a:中国語を日本語として読む漢文の工夫とその意義を理解しようとしている。 d:返り点、送り仮名を理解し、訓点付き漢文を正しく書き下し文に改めている。正しく訓読し音読している。 e:漢文のきまりと読み方、意味、用法、返り点について理解している。	定期テスト 宿題 授業の取り組み 出席状況 提出物の状態

一学期		『竹取物語』 ・昔話としてなじみのある作品を読み、音読によって古文の調子に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・用言の活用を理解する。 ・口語訳の力を身につける。	○				○	○	a 語句や表見に即して物語の展開を読み取ろうとしている。音読によって古文の調子を味わおうとしている。 d:内容を展開に即して理解し、登場人物の行動と心情を読み取っている。 e:動詞・形容詞・形容動詞の活用を理解し、活用表が作成できる。『竹取物語』について、文学史上の基本的な知識を持っている。	定期テスト 宿題 授業の取り組み 出席状況 提出物の状態
	物語を楽しむ	『漁夫之利』『狐借虎威』 ・漢文訓読の基本事項を確認し、音読によって漢文の調子に親しむ。 ・平易な短い文章を読み、漢文の内容を理解する。 ・故事成語の話の内容を捉え、故事成語の現在使われている意味を理解する。 ・古代中国人のものの見方・考え方を知り、通して、日本文化をより深く理解する。	○ ○				○	○	a:よく知られた故事成語について深く学ぼうとしている。正しく音読し漢文の調子を味わおうとしている。 d:訓点に従って読み、内容を理解している。 e:故事成語の現在の意味について理解している。訓点に従い、漢文を正しく書き下し文に改めている。句形の読み方と意味を理解している	定期テスト 宿題 授業の取り組み 出席状況 提出物の状態
		『徒然草』 ・随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・表現上の特色を理解し、音読することによって優れた表現に親しむ。 ・用言を理解したうえで、助動詞について理解を深め、口語訳に生かす。 ・敬語について理解する。	○ ○				○	○	a:重要語句の意味を古語辞典で調べている。音読し内容を理解しようとしている。 d内容を構成や展開に即して理解している。随筆のおもしろさを理解している。 e:『徒然草』について、文学史上の基本的な知識を持っている。用言の活用から助動詞に理解を深めている。	定期テスト 宿題 授業の取り組み 出席状況 提出物の状態

		<p>『蛇足』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代中国人のものの見方・考え方を知り、通して、日本文化をより深く理解する。 ・漢文訓読の基本事項を確認する。 ・平易な短い文章を読み、漢文の内容を理解する。 ・故事成語の話の内容を捉え、故事成語の現在使われている意味を理解する。 	○			○	○	<p>a:古代中国と現代日本の考え方のつながりを深く理解しようとし、音読によって漢文の調子に親しもうとしている。</p> <p>d:返り点、送り仮名を理解し、訓点付き漢文を正しく書き下し文に改めている。置き字・再読文字の意味・用法を理解し、正しく訓読している。</p> <p>e:漢文の特徴と読み方、返り点について理解している。</p>	<p>定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態</p>
二学期	随筆を読む	<p>『伊勢物語』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌物語を読んで、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・歌物語における和歌の役割を理解する。和歌を味読し、修辞技巧を理解する 	○			○	○	<p>a:音読し、重要語句の意味を古語辞典で調べ、自分の力で古文を理解しようとしている。</p> <p>d:内容を展開に即して理解し、登場人物の行動と心情を読み取っている。</p> <p>e:本文を適切に口語訳している。助動詞の活用を理解し口語訳にかすことができる。『伊勢物語』について、文学史上の基本的な知識を持っている。</p>	<p>定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態</p>
		<p>『万葉集 古今和歌集 新古今和歌集』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌の優れた表現に親しむ。 ・和歌によまれた思想・感情・情景を読み取る。 ・和歌の修辞技巧やそれぞれの時代の表現・語法上の特色を理解する。 	○	○		○	○	<p>a:和歌の響きを味わい、込められた思いを読み取るとうとしている。</p> <p>b:和歌の表現や読まれている心情などについて互いの感想を発表し合う。</p> <p>d:和歌の表現を通して、思想・感情、情景を理解している。</p> <p>e:和歌の修辞技巧を理解している。時代による違いを理解している。</p>	<p>定期テスト 宿題 授業の取組み 出席状況 提出物の状態</p>

	古代の史話	『鶏口牛後』 著名な著名な史話について興味を持ち、内容を深く知ろうとする 文章に描かれた人物、情景、心情などを話の展開に沿って読み味わう 句法・語法を理解した上で、それぞれの話の歴史的背景や出典に関する基本的知識を確認する	○			○	○	a: 当時の時代背景を理解して話のおもしろさを味わおうとしている。 d: 文章の内容を、話の展開に即して理解している。訓読を通して、登場人物の言動について理解し、その性格・人物像をつかんでいる。 e: 句形の読み方と意味を理解している。中国の歴史書の概要について、理解している。	定期テスト 宿題 授業の取り組み 出席状況 提出物の状態
三学期	日記を読む	『土佐日記』 ・日記を読んで、人間・社会な どに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・文章の表現上の特色を理解する。 ・助動詞の識別や接続について理解する。	○			○	○	a 重要語句の意味を古語辞典で調べている。内容を理解しようとしている。 d: 本文を正しく音読し、古文の調子に親しむ。当時における舟での旅やそれにまつわる登場人物の心情を理解し、日記のおもしろさを理解している。 e: 助動詞の意味用法について理解している。『土佐日記』について、文学史上の基本的な知識を持っている。	定期テスト 宿題 授業の取り組み 出席状況 提出物の状態

三学期	軍記物語を読む	『平家物語』 ・軍記物語を読んで、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・音便や敬語の種類について理解する。	○			○		a:読解を深めることで、物の見方、感じ方、考え方を広くしている。本文を音読し軍記物の独特の調子を味わおうとしている。 d:内容を構成や展開に即して登場人物の心情や生き方を理解している。 e:助動詞の意味用法について理解している。和漢混交文、音便について理解している。敬語の種類と用法を理解している。軍記物語『平家物語』について文学史上の基本的な知識を持っている。	定期テスト 宿題 授業の取り組み 出席状況 提出物の状態
	史話	『鶏鳴狗盗』 ・比較的長い、平易な文章の漢文に慣れ、訓読のきまりについて確認する。 ・中国の史伝に特徴的な簡潔な表現を味わい、故事成語・成句などを正しく理解する。 ・中国の歴史書の特質である文学性を理解し、思考力や批判力を養う。	○ ○			○ ○		a 著名な史話について興味を持ち、内容を深く知ろうとしている。 d 文章に描かれた人物、情景、心情などを話の展開に沿って読み味わっている。 e 句法・語法を理解した上で、それぞれの話の歴史的背景や出典に関する基本的知識を確認したる。	定期テスト 宿題 授業の取り組み 出席状況 提出物の状態
	漢詩の鑑賞	『唐詩の世界』 ・唐詩を読み味わい、中国古典文学への関心を高める。 ・中国の自然や、人間の心理が詩にどのようなよまれているかを考える。 ・漢詩のきまり(詩形・押韻・構成・対句)について理解する。 ・詩に表現された作者の心情について理解する。	○ ○			○ ○	○ ○	a:日本でも愛好されてきた漢詩の名作に関心を持ち、声に出して味わい、暗唱しようとしている。 d:漢詩と訳を読み比べて、各詩の情趣を把握している。漢詩の感情や情景を読み取っている。 e:詩の形式や押韻、対句等、漢詩のきまりについて理解している。	定期テスト 宿題 授業の取り組み 出席状況 提出物の状態

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力 d:読む能力 e:知識・理解

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

平成31年度 国語科

教科	国語	科目	古典A	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「古典A 大鏡 源氏物語 諸家の文章」 (第一学習社)						
副教材等	これからの古典文法改訂版 (尚文出版)、よむナビ古文3演習編 (いいずな書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・様々なジャンルの古典作品を数多く読むことによって、古典をより身近なものとして、味わい鑑賞する姿勢を身につけましょう。また、古人が培ってきた言語文化に対する理解を深めましょう。 ・古典作品を読み味わうために、古典文法の知識や語彙力を身につけましょう。 ・予習として何度も本文を音読して、古典作品の文体を味わいましょう。また、辞書を引いて語句調べをし、文脈に沿った本文における語句の意味を調べておきましょう。

2 学習の到達目標

<p>古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。</p>

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観点の趣旨	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。			まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 (学習活動への参加姿勢や態度) 記述の確認 (ノート、ワークシート等)			行動の観察 (学習活動における発言内容) 記述の確認 (ワークシート等) 定期考査	行動の観察 (学習活動における発言内容) 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
二学期	物語	教材: 『伊勢物語』 「渚の院」 「さらぬ別れ」	○			◎	○	a: 古典特有の表現を味わおうとしている。 d: 歌物語における地の文と和歌とがどのように機能しているのか理解している。 e: 重要な古語の意味、和歌の修辞を理解している。	a: 行動の観察、記述の確認 d: 行動の観察、記述の確認、定期考査 e: 行動の観察、記述の確認、定期考査、小テスト
	物語	教材: 『うつほ物語』 「とりかへばや物語」	○			◎	○	a: 古典特有の表現、物語の面白さを味わおうとしている。 d: 登場人物の関係、若君と姫君の人物造型を理解している。 e: 若君と姫君を「とりかへばや(取り替えたい)」という、物語の趣向を理解している。	a: 行動の観察、記述の確認 d: 行動の観察、記述の確認、定期考査 e: 行動の観察、記述の確認、定期考査、小テスト
一学期	物語	教材: 『平家物語』 『住吉物語』	○			◎	○	a: 古典特有の表現を味わおうとしている。 d: 地の文や和歌の内容から登場人物の心情を理解している。 e: 和歌の修辞、「に」「し」「の」の識別方法を理解している。	a: 行動の観察、記述の確認 d: 行動の観察、記述の確認、定期考査 e: 行動の観察、記述の確認、定期考査、小テスト
	物語	教材: 『源氏物語』 「夕顔の死」 「柏木の懸想」 「薫の五十日の祝ひ」	○			○	○	a: 文学史における源氏物語の位置を理解しようとしている。 d: 和歌の修辞に留意しながら正確に読み取る。 e: 正確な読解を通して登場人物の人物像に迫り、「源氏物語」における宇治十帖の位置づけを理解し、作品の全体像を把握する。	a: 行動の観察、記述の確認 d: 行動の観察、記述の確認、定期考査 e: 行動の観察、記述の確認、定期考査、小テスト

	歴史	『大鏡』	○	◎	○	<p>a: 文学史における平家物語の位置を理解しようとしている。</p> <p>d: 前後の物語の流れをふまえて本文の内容を正確に理解している。</p> <p>e: 主要な副助詞・終助詞・副詞の意味をおさえた上で正確に現代語訳ができる。</p>	<p>a: 行動の観察、記述の確認</p> <p>d: 行動の観察、記述の確認、定期考査</p> <p>e: 行動の観察、記述の確認、定期考査、小テスト</p>
三学期	評論	教材: 『俊頼髓脳』 『古今和歌集仮名序』	○		○	<p>a: 筆者の主意を表す表現の内容を的確に理解しようとしている。</p> <p>d: 本文の内容を理解し、人物像を読み取っている。</p>	<p>a: 行動の観察、記述の確認</p> <p>d: 行動の観察、記述の確認、定期考査</p>

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 話す・聞く能力 c: 書く能力
d: 読む能力 e: 知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。

平成31年度 国語科

教科	国語	科目	現代文B	単位数	3単位	年次	2年次
使用教科書	「現代文B改訂版」 (大修館書店)						
副教材等	現代文解法のテクニック2 (啓隆社) 評論速読トレーニング1500 (数研出版) ・新常用漢字必携パーフェクトクリア (尚文出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・論理的に文章を読む力、文章を読むための知識と技術を身につけることを常に意識して学習活動を進めましょう。 ・自分自身の考えを深めるための「読む能力」「書く能力」を高めましょう。 ・コミュニケーションのための「話す能力・聞く能力」を高めましょう。 ・予習プリント (語彙・内容把握) が配られます。しっかり取り組んだ上で授業に臨んでください。 ・グループで読んだり、批評したり、話し合ったりする機会を取り入れます。積極的に取り組んでください。 ・定期考査は学習計画を立てて臨んでください。
--

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで、構成・展開・要旨などを的確にとらえる。 ・文章を読んで、書き手の意図や人物・情景・信条の描写などを的確に捉え、表現を味わう。 ・文章を読んで批評することを通じて、人間・社会・自然などについて、自分の考えを深める。 ・語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現に役立てる。
--

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝えあう力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	分掌を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化およびことばの特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評 価 方 法	行動の観察 (授業態度) 記述の点検 (ノート・ワークシート・問題集など)	行動の観察 (発表などのパフォーマンス) 相互評価	記述の確認及び分析 (ワークシート・原稿) 相互評価	記述の確認及び分析 (ワークシートなど) 定期考査	記述の点検 (問題集・ワークシートなど) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1 学期	評論	教材「対話の精神」	○			◎	○	a:「対話」について筆者の考えを意欲的に読み取ろうとしている。 d:国際社会における「対話」の重要性について、筆者の考えを理解している。 e: 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	ae:行動の観察と確認 d:定期考査 記述の確認と分析
	評論	「ミロのヴィーナス」	○			◎	○	a:筆者の着想のおもしろさについて考察している。 d:3つの段落の要旨を把握している。 e: 同義の表現や逆説的な表現の意味を正しく理解している。	a:記述の点検 d:定期考査 記述の確認と分析 e:行動の観察
	表現	「お」と「ご」の使い分けについて	○	◎			○	a:話し合う活動の意義や方法に関心を持っている。 b:根拠となる本文を適切に示しつつ、自分の考えを発表している。 d:本文に基づいて自分の考えをまとめている。	ab:行動の観察と確認 相互評価 d:記述の確認と分析
	評論	からだで味わう動物と情報を味わう人間	○			◎	○	a:実験例をもとにした考察について筆者の考え方に興味を持っている。 d:筆者のものの考え方をとらえ、要旨をもとめることができる。 e: 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:記述の点検 d:定期考査 記述の確認と分析 e:定期考査 小テスト
	小説	「山月記」	○			◎	○	a:本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 d:登場人物の行動や心理の変化を的確に読み取っている。 e: 作品独特のリズムと文体を味わっている	a:記述の点検 d:定期考査 記述の確認と分析 e:定期考査

2学期	評論	「ホンモノのおカネの作り方」	○			◎	○	a: 「はかる」ことに対する筆者の問題意識をとらえ、自分の身のまわりのことにも当てはめつつ考えようとしている。 d: 筆者の述べる、「食べ物を『はかる』とは、どのようなことか正確に読み取っている。 e: 語句の意味を正しくとらえ、同訓異字を正しく使用している。	a: 記述の点検 d: 定期考査 記述の確認と分析 e: 行動の観察と確認
	詩	「樹下の二人」	○			◎	○	a: 詩歌を読むおもしろさを体験し、詩歌への興味、関心をもつ。 d: 表現に即して、「私」の「あなた」に対する思いを読み取っている。 e: 全文を正しく音読している。	d: 定期考査 記述の確認と分析 ae: 行動の観察と確認
	詩	「永訣の朝」	○			◎	○	a: 詩歌を読むおもしろさを体験し、詩歌への興味、関心をもつ。 d: 作品が描いている情景を、作者の伝記的事実も踏まえて、思い描いている。 e: 語句の意味を正しくとらえ、比喻などの表現技法の効果を理解している。	a: 行動の観察と確認 d: 定期考査 記述の確認と分析 e: 定期考査
	評論	「人を指す言葉」	◎			◎	○	a: 言葉と人間関係のつながりに興味を持ち、自分自身の言葉の使い方と繋げて考えようとしている。 d: 日本語に関する論証の展開、結論を正しく捉え、要旨をまとめることができる。 e: 語句の意味を正しくとらえ、日本語と日本社会について理解を深めている。	a: 行動の観察と確認 d: 定期考査 記述の確認と分析 e: 定期考査
	表現	調べて発表する	○	◎	○		○	a: 与えられた課題に対して積極的に情報を収集している。 b: 準備した上で、効果的なプレゼンテーションを行っている。 c: 収集した情報を整理し、発表原稿を作成している e: プレゼンテーションの目的と方法を理解している。	abe: 行動の観察と確認 相互評価 c: 記述の確認と分析

3 学期	小説	「こころ」	○			◎	○	a:夏目漱石とその作品に関心を持ち、調べている。 d:Kの自殺の理由と、Kの自殺後の私の生き方について考察している。 e:「こころ」全文を読み、作品全体の理解を深めている。	a:記述の点検 d:定期考査 記述の確認と分析 e:定期考査
	評論	「コミュニティから見た日本」	○			◎	○	a:「コミュニティ」という視点から現代社会が抱える問題点について、自分なりの考えをもっている。 d:グラフとその分析西欧化」「近代化」「グローバル化の関係を理解している。また、『国際化』から「グローバル化」への変化の背景を読み取っている。 e:冷戦とその終結など現代史の大きな流れを理解している。	a:記述の点検 d:定期考査 記述の確認と分析 e:定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く力
c:書く力 d:読む力 e:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点到○、その中で最も重点を置く観点到◎を付けている。

平成 31 年度 国語科

教科	国語	科目	現代文B	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	「現代文B改訂版」 (大修館書店)						
副教材等	現代文解法のテクニック2 (啓隆社) 評論速読トレーニング1500 (数研出版) ・新常用漢字必携パーフェクトクリア (尚文出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・論理的に文章を読む力、文章を読むための知識と技術を身につけることを常に意識して学習活動を進めましょう。 ・自分自身の考えを深めるための「読む能力」「書く能力」を高めましょう。 ・コミュニケーションのための「話す能力・聞く能力」を高めましょう。 ・予習プリント (語彙・内容把握) が配られます。しっかり取り組んだ上で授業に臨んでください。 ・グループで読んだり、批評したり、話し合ったりする機会を取り入れます。積極的に取り組んでください。 ・定期考査は学習計画を立てて臨んでください。
--

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで、構成・展開・要旨などを的確にとらえる。 ・文章を読んで、書き手の意図や人物・情景・信条の描写などを的確に捉え、表現を味わう。 ・文章を読んで批評することを通じて、人間・社会・自然などについて、自分の考えを深める。 ・語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現に役立てる。
--

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝えあう力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	分掌を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化およびことばの特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評 価 方 法	行動の観察 (授業態度) 記述の点検 (ノート・ワークシート・問題集など)	行動の観察 (発表などのパフォーマンス) 相互評価	記述の確認及び分析 (ワークシート・原稿) 相互評価	記述の確認及び分析 (ワークシートなど) 定期考査	記述の点検 (問題集・ワークシートなど) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論	「ミロのヴィーナス」	○			◎	○	a:筆者の着想のおもしろさについて考察している。 d:3つの段落の要旨を把握している。 e:同義の表現や逆説的な表現の意味を正しく理解している。	a:記述の点検 d:定期考査 記述の確認と分析 e:行動の観察
	表現	「お」と「ご」の使い分けについて	○	◎			○	a:話し合う活動の意義や方法に関心を持っている。 b:根拠となる本文を適切に示しつつ、自分の考えを发表している。 d:題材として選んだ小説を深く読み込み、本文に基づいて自分の考えをまとめている。	ab:行動の観察と確認 相互評価 d:記述の確認と分析
	評論	からだで味わう動物と情報を味わう人間	○			◎	○	a:実験例をもとにした考察について筆者の考え方に興味を持っている。 b:筆者のものの考え方をとらえ、要旨をまとめることができる。 e:語句の意味を正しくとらえ、漢字を正確に書くことができる。	a:記述の点検 d:定期考査 記述の確認と分析 e:定期考査 小テスト
	小説	「山月記」	○			◎	○	a:本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 d:登場人物の行動や心理の変化を的確に読み取っている。 e:作品独特のリズムと文体を味わっている	a:記述の点検 d:定期考査 記述の確認と分析 e:定期考査
2学期	評論	「ホンモノのおカネの作り方」	○			◎	○	a:「はかる」ことに対する筆者の問題意識をとらえ、自分の身のまわりのことにも当てはめつつ考えようとしている。 d:筆者の述べる、「食べ物を『はかる』とは、どのようなことか正確に読み取っている。 e:語句の意味を正しくとらえ、同訓異字を正しく使用している。	a:記述の点検 d:定期考査 記述の確認と分析 e:行動の観察と確認

	詩	「永訣の朝」	○			◎	○	a: 詩歌を読むおもしろさを体験し、詩歌への興味、関心をもつ。 d: 作品が描いている情景を、作者の伝記的事実も踏まえて、思い描いている。 e: 語句の意味を正しくとらえ、比喻などの表現技法の効果を理解している。	a: 行動の観察と確認 d: 定期考査 記述の確認と分析 e: 定期考査
	評論	「人をす言葉」	◎			◎	○	a: 言葉と人間関係のつながりに興味を持ち、自分自身の言葉の使い方と繋げて考えようとしている。 d: 日本語に関する論証の展開、結論を正しく捉え、要旨をまとめることができる。 e: 語句の意味を正しくとらえ、日本語と日本社会について理解を深めている。	a: 行動の観察と確認 d: 定期考査 記述の確認と分析 e: 定期考査
3 学期	小説	「こころ」	○			◎	○	a: 夏目漱石とその作品に関心を持ち、調べている。 d: Kの自殺の理由と、Kの自殺後の私の生き方について考察している。 e: 「こころ」全文を読み、作品全体の理解を深めている。	a: 記述の点検 d: 定期考査 記述の確認と分析 e: 定期考査
	表現	「コミュニティから見た日本」	○			◎	○	a: 「コミュニティ」という視点から現代社会が抱える問題点について、自分なりの考えをもっている。 d: グラフとその分析「西欧化」「近代化」「グローバル化の関係を理解している。また、『国際化』から「グローバル化」への変化の背景を読み取っている。 e: 冷戦とその終結など現代史の大きな流れを理解している。	a: 記述の点検 d: 定期考査 記述の確認と分析 e: 定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 話す・聞く力
c: 書く力 d: 読む力 e: 知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点に○、その中で最も重点を置く観点到◎を付けている。

平成31年度 国語科

教科	国語	科目	現代文B	単位数	3単位	年次	3年次
使用教科書	「精選現代文B 新訂版」 (大修館書店)						
副教材等	新総合図説国語 (東京書籍)、センター試験国語過去問題総合版 (尚文出版)、 大学入試国語頻出問題 1200 四訂版 (いいずな書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・3年間の学習の集大成として、社会に出てからも必要となる幅広い視野と論理的かつ柔軟な思考力のもととなる国語力をしっかりと身に付けましょう。
- ・自分の考えを文章にしたり、文章を要約したりすることのほか、グループでの話し合いや発表など、授業を受ける側の主体的な活動を通して、「読む能力」を向上させるとともに、「話す・聞く能力」や「書く能力」をしっかりと身に付けてください。

2 学習の到達目標

- ・様々な文章を的確に理解し、適切に思いや考えを表現する能力を高める。
- ・様々なテーマを扱った評論に数多く読むことにより、物事に対する様々な視点からの見方があることを学び、論理的な思考力を育成するとともに、柔軟な思考力を養う。
- ・明治から同時代までの優れた小説を読み味わうことにより、登場人物の心情を理解し豊かな想像力と人間性を養うとともに、言葉に対する感性を磨く。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主 た る 評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの 評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析 (ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1 学期	評論	教材: 「贈り物としてのノブレス・オブリージュ」 (内田樹)	○		○	◎		a:「ノブレス・オブリージュ」について、自身の生活を振り返りつつ考察している。 c:要旨をまとめ、筆者のものの見方考え方をとらえている。 d:筆者の考えを理解している。	a:行動の観察(発言) c:記述の点検 d:記述の確認及び定期考査
	小説	教材: 「舞姫」(森鷗外)	○	○	○	◎	○	a:描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとしている。 b:作品を読んだ感想を互いに発表しあい、理解を深めている。 c:作品を読んだ感想を文章にまとめて理解を深めている。 d:描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。特に、日本の近代と個人の生き方との関係について考えている。 e:文語体や難解な語句を的確に理解している。	a:行動の観察(発言) b:発言・発表 c:記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査
	評論	教材: 「である」と「すること」 (丸山真男)	○			◎	○	a:日本の近代化の特質とその問題点について論じた内容を、自らの課題として受け止めている。 d:「である」論理から「すること」論理への推移の仕方とその問題点を理解している。 e:「民主主義」「自由」「近代化」など、本文のテーマに関わる重要語の意味を正しく理解している。	a:行動の観察(発言) d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査
	評論	教材: 「実体の美と状況の美」 (高階秀爾)	○			◎	○	a:自身の美についての捉え方を踏まえて読もうとしている。 d:日本と西欧の美の捕らえ方の違いという筆者の主張を理解している。 e:日本と西欧の美の捉え方の違いを実際の作品を踏まえたうえで正しく理解している。	a:行動の観察(発言) d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査

2 学 期	小説	教材： 「檸檬」 (梶井基次郎)	○	○	◎	○	a:「私」の心理の変化をまとめながら、自分にも同様の体験がないか、考えている。 b:読後感を発表しあい、理解を深めている。 d:檸檬によってもたらされた「私」の幸福感について理解している。 e:現代ではあまり使われない語彙などを正しく理解している。	a:行動の観察(発言) b:発言・発表 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査
	評論	教材:「猫は後悔するか」 (野矢茂樹)	○	○	◎	○	a:論理的なものの考え方を積極的に身に付けようとしている。 c:要旨をまとめ、筆者のものの見方考え方をとらえている。 d:論理・分節化などの概念に対する筆者の主張を的確に読み取っている。 e:論理的な考え方を正しく理解している。	a:行動の観察(発言) c:記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査
	韻文	俳句十五句 (川端茅舎ほか)	○		◎	○	a:繰り返し音読し、作品のリズムやイメージを味わっている。 d:表現に即して、各句に読まれた情景や心情を的確委捉えている。 e:近現代の俳句史や各句の作者について基本的な知識を持っている。	a:行動の観察(発言) d:記述の確認及び定期考査 e:定期考査
	評論	教材： 「生物多様性の恩恵」 (鷲谷いづみ)	○		◎	○	a:生物の多様性について関心を持っている。 d:生物の多様性に日常的に触れる環境を取り戻すという筆者の主張を読み取っている。 e:生物学の基本用語の意味を正しく理解している。	a:行動の観察(発言) d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査
3 学 期	評論	教材： 「無常ということ」 (小林秀雄)	○		◎	○	a:筆者の考え方に関心を持っている。 d:「無常」に対する筆者の主張を理解している。 e:「無常」というキーワードの意味を、具体例と結びつけて正しく理解している。	a:行動の観察(発言) d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力
d:読む能力 e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を付け、また、その単元で主として扱う観点には◎印を付している。

平成31年度 国語科

教科	国語	科目	現代文B	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「精選現代文B 新訂版」 (大修館書店)						
副教材等	新総合図説国語 (東京書籍)、センター試験国語過去問題総合版 (尚文出版)、 大学入試国語頻出問題 1200 四訂版 (いいずな書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の学習の集大成として、社会に出てからも必要となる幅広い視野と論理的かつ柔軟な思考力のもととなる国語力をしっかりと身に付けましょう。 ・自分の考えを文章にしたり、文章を要約したりすることのほか、グループでの話し合いや発表など、授業を受ける側の主体的な活動を通して、「読む能力」を向上させるとともに、「話す・聞く能力」や「書く能力」をしっかりと身に付けてください。

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・様々な文章を的確に理解し、適切に思いや考えを表現する能力を高める。 ・様々なテーマを扱った評論に数多く読むことにより、物事に対する様々な視点からの見方があることを学び、論理的な思考力を育成するとともに、柔軟な思考力を養う。 ・明治から同時代までの優れた小説を読み味わうことにより、登場人物の心情を理解し豊かな想像力と人間性を養うとともに、言葉に対する感性を磨く。
--

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主 た る 評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの 評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析 (ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論	教材: 「贈り物としてのノブレス・オブリージュ」 (内田樹)	○		○	◎		a:「ノブレス・オブリージュ」について、自身の生活を振り返りつつ考察している。 c:要旨をまとめ、筆者のものの見方考え方をとらえている。 d:筆者の考えを理解している。	a:行動の観察(発言) c:記述の点検 d:記述の確認及び定期考査
	小説	教材: 「舞姫」(森鷗外)	○	○	○	◎	○	a:描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとしている。 b:作品を読んだ感想を互いに発表しあい、理解を深めている。 c:作品を読んだ感想を文章にまとめて理解を深めている。 d:・描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。特に、日本の近代と個人の生き方との関係について考えている。 e:文語体や難解な語句を的確に理解している。	a:行動の観察(発言) b:発言・発表 c:記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査
	評論	教材: 「である」と「すること」 (丸山真男)	○			◎	○	a:日本の近代化の特質とその問題点について論じた内容を、自らの課題として受け止めている。 d:「である」論理から「する」論理への推移の仕方とその問題点を理解している。 e:「民主主義」「自由」「近代化」など、本文のテーマに関わる重要語の意味を正しく理解している。	a:行動の観察(発言) d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査
2学期	小説	教材: 「檸檬」 (梶井基次郎)	○	○		◎	○	a:「私」の心理の変化をまとめながら、自分にも同様の体験がないか、考えている。 b:読後感を発表しあい、理解を深めている。 d:檸檬によってもたらされた「私」の幸福感について理解している。 e:現代ではあまり使われない語彙などを正しく理解している。	a:行動の観察(発言) b:発言・発表 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト 定期考査

	評論	教材:「猫は後悔するか」 (野矢茂樹)	○	○	◎	○	a:論理的なものの考え方を積極的に身に付けようとしている。 c:要旨をまとめ、筆者のものの見方考え方をとらえている。 d:論理・分節化などの概念に対する筆者の主張を的確に読み取っている。 e:論理的な考え方を正しく理解している。	a:行動の観察(発言) c:記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト定期考査
	評論	教材: 「生物多様性の恩恵」 (鷺谷いづみ)	○		◎	○	a:生物の多様性について関心を持っている。 d:生物の多様性に日常的に触れる環境を取り戻すという筆者の主張を読み取っている。 e:生物学の基本用語の意味を正しく理解している。	a:行動の観察(発言) d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト定期考査
3学期	評論	教材: 「無常ということ」 (小林秀雄)	○		◎	○	a:筆者の考え方に関心を持っている。 d:「無常」に対する筆者の主張を理解している。 e:「無常」というキーワードの意味を、具体例と結びつけて正しく理解している。	a:行動の観察(発言) d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力
d:読む能力 e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を付け、また、その単元で主として扱う観点には◎印を付している。

平成31年度 国語科

教科	国語	科目	古典B	単位数	3単位	年次	2年次
使用教科書	精選 古典B 改訂版 (三省堂) 335						
副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・3ステップ 新成古文 改訂版 大学共通テスト ・新版二訂 ニューエイジ漢文必修2 ・Key&Point 古典単語 330 三訂版 						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・有名な古文と漢文の文章に親しむとともに、現代にも通じる心情等を理解するために、語彙力や文法の知識をしっかりと身につけましょう。
- ・予習として必ず本文を読み、指示された語句の意味を辞書で調べておきましょう。
- ・授業を振り返って、内容や知識を定着させましょう。
- ・提出物の期限を守り、定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

古典としての古文、漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む力	c:知識・理解
観 点 の 趣 旨	古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとする。	古典を読んで、内容および、思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、表記等を理解し、知識を身につけている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察 ・記述の点検 (ノート、ワークシート等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・記述の確認 (ノート、ワークシート等) ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・記述の確認 (ノート、ワークシート等) ・小テスト ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	説話・随筆・伝承	『十訓抄』 ・博雅の三位と鬼の笛 『枕草子』 ・すさまじきもの ・雪のいと高う降りたるを 『古事記』 ・倭健の東征 有名な作品を読んで古文に親しむ。	○	○	○	a: 重要語句の意味を古語辞典で調べている。 b: 作品の構成や展開をふまえて内容を的確に捉え、作者や登場人物の行動と心情を読み取っている。また、本文を適切に口語訳している。 c: 一年で学習した用言の動詞の活用・助動詞について理解を確認する。	a: 予習ノートの点検 b、c: 記述の確認および定期考査
	小話・文章	『病入膏肓』 『畏饅頭』 『愛蓮説』 ・短めの文章を読んで漢文に親しむ。	○	○	○	a: 現代の日本においても使われている故事成語の表現や小話の原型となる文章に興味関心を持つ。 b: 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 c: 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改め、漢文独自の表現について理解を深める。 詠嘆・願望・受け身・使役などの句形を理解している。	a: 行動、記述の点検 b、c: 記述の確認および定期考査
2学期	日記・作り物語・	『更科日記』 ・あこがれ ・源氏の五十余巻 『源氏物語』 桐壺 若紫 ・日記文学を読んで、作者の考えや感情を読み取る。 ・物語を読んで登場人物の行動や心情を読み味わう。	○	○	○	a: 現代の日本においても様々な影響を与えている源氏物語に興味を持ち、その源氏物語にあこがれた平安時代の少女の日記に共感をもつ。 b: 作品の構成や展開をふまえて内容を的確に捉え、作者や登場人物の行動と心情を読み取っている。また、本文を適切に口語訳している。 c: 基本的な文法事項、和歌の修辞技巧、助詞について理解を深める。	a: 行動、記述の点検 b、c: 記述の確認および定期考査

	史伝	『史記』 ・鴻門之会 ・四面楚歌 ・項王の最期 少々長めの文章を読んで漢文に親しむ。	○	○	○	a:中国の有名な歴史的物語に興味を持つ。 b:話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 c:本文を訓点に従って正しく読み書き下し文に改める。 疑問・二重否定・使役などの句形を理解する。	a:行動、記述の点検 b、c:記述の確認および定期考査
3学期	歴史物語	『大鏡』 ・雲林院の菩提講 ・弓争い ・花山院の出家	○	○	○	a:平安時代の社会、その中心にあった藤原一族の興亡に興味関心を持つ。 b:作者の人間・社会・自然などの対する考えや感情を読み取っている。また、本文を適切に口語訳している。 c:基本的な文法事項を理解している。	a:行動、記述の点検 b、c:記述の確認および定期考査
	儒家の思想	『論語』 『孟子』	○	○	○	a:古代中国の思想から現代に通じるものの見方・考え方を知る。 b:中国の主要な思想である儒家の主張の概要を理解する c:本文を訓点に従って正しく読み書き下し文に改める。 反語・限定・仮定などの句形の読みと意味とについて理解する。	a:予習ノート、行動、記述の点検。 b、c:記述の確認および定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:読む力
c:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成31年度 国語科

教科	国語	科目	古典B	単位数	3単位	年次	3年次
使用教科書	精選 古典B 改訂版 (大修館書店)						
副教材等	必携～古文単語と一緒に学ぶ～これからの古典文法 改訂版 (尚文出版) 精選漢文 (尚文出版) 精選漢文ノート (尚文出版) 核心古文単語 351 (尚文出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・様々なジャンルの古文と漢文の作品を読んで、古人が培ってきた言語文化に対する理解を深めるための国語の力をより一層深く身に付けることを心がけましょう。 ・グループごとでの古典作品の解釈やテーマを定めた発表・演習などを行って、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。 ・今までに学習してきた漢文の句法や古典文法の知識や語彙力をさらにしっかりと身につけて、読む力をさらに向上させましょう。 ・予習として、何度も本文を音読して古典作品の文体を味わいましょう。また、辞書を引いて本文中の語句の意味を調べておきましょう。 <p>さらに、便覧等を活用し、作品の文学史的な位置づけやその時代の風俗習慣なども調べてみて、作品の全体像も理解するように努めましょう。</p>

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。 ・文章や作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・文章や作品に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、考えを豊かにする。 ・文章や作品の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育てている。
--

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主 た る 評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)			記述の確認及び分析 (ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随筆	教材: 『枕草子』 「うれしきもの」 「上にさぶらふ御猫は」	○			◎	○	a: 随筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取ろうとしている。 d: 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 e: 敬語に注意して正確に読み取る。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	史伝	教材: 『史記』 「荆軻」	○			◎	○	a: 人間や人間関係を生き生きと描いた史伝の魅力を味わおうとする。 d: 主人公の人物像を把握するとともに、同時代に生きた人物について理解する。 e: 漢文の句法を理解する。作品の時代背景を理解する。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト
	物語	教材: 『源氏物語』 「須磨」	○			◎	○	a: 「源氏物語」の内容や構成に関心を持ち、物語文学への理解を深めようとする。 d: 登場人物の行動や心情を的確に読み取る。 e: 読解に必要な敬語表現や助動詞などの文法知識を身につけている。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
2学期	物語	教材: 『源氏物語』 「若菜上」	○			◎	○	a: 「源氏物語」全体におけるこの巻の位置づけや作品の全体像の理解に努め、作品の主題や物語文学における本作品の位置づけを理解しようとする。 d: 人物関係や登場人物の心情を的確に読み取る。 e: 読解に必要な敬語表現や助動詞などの文法知識を身につけている。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	日記	教材: 『蜻蛉日記』 「町の小路の女」 『和泉式部日記』 「薫る香に」	○			◎	○	a: 日記を読んで、記された事柄や作者のものの見方・感じ方を的確に読み取ろうとする。 d: 和歌に込められた登場人物や作者の心情を正確に読み取り、内容を把握する。 e: 読解に必要な助動詞などの文法知識や和歌の修辞法を身につけている。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査

	思想	教材： 『老子』 「小国寡民」 『莊子』 「混沌」	○	◎	○	a:老荘思想の概要について、諸子百家における位置づけを含めて理解しようとする。 d:それぞれの話がどのような事を意味しているかを理解し、老荘思想の現代における意義を考察する。 e:漢文を読むことに必要な句法を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
三学期	歴史物語	教材： 『大鏡』 「肝だめし」	○	◎	○	a: 歴史物語の文学的位置づけをふまえて、その時代に生きた登場人物の人間像を理解しようとする。 d:歴史物語を読んで、登場人物の行動や心理を話の展開に即して読み取る。 e: 読解に必要な助動詞などの文法知識や和歌の修辞法を身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	評論	教材： 『無名抄』 「おもて歌」 『三冊子』 「不易と変化」	○	◎	○	a:歌論・俳論を読んで、作者の思想や感情を読み取ろうとする。 d:文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 e: 歌論・俳論中に取り上げられている和歌の修辞技巧を理解し、鑑賞する。 e:文法知識を身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力
d:読む能力 e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域「読むこと」に関わる観点には◎を付している。

平成 31 年度 国語科

教科	国語	科目	古典B	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	精選 古典B 改訂版 (大修館書店)						
副教材等	必携～古文単語と一緒に学ぶ～これからの古典文法 改訂版 (尚文出版) 精選漢文 (尚文出版) 精選漢文ノート (尚文出版) 核心古文単語 351 (尚文出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・様々なジャンルの古文と漢文の作品を読んで、古人が培ってきた言語文化に対する理解を深めるための国語の力をより一層深く身に付けることを心がけましょう。 ・グループごとでの古典作品の解釈やテーマを定めた発表・演習などを行って、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。 ・今までに学習してきた漢文の句法や古典文法の知識や語彙力をさらにしっかりと身につけて、読む力をさらに向上させましょう。 ・予習として、何度も本文を音読して古典作品の文体を味わいましょう。また、辞書を引いて本文中の語句の意味を調べておきましょう。 <p>さらに、便覧等を活用し、作品の文学史的な位置づけやその時代の風俗習慣なども調べてみて、作品の全体像も理解するように努めましょう。</p>

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。 ・文章や作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・文章や作品に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、考えを豊かにする。 ・文章や作品の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育てている。
--

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)			記述の確認及び分析 (ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随筆	教材: 『枕草子』 「上にさぶらふ御猫は」	○			◎	○	a: 随筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取ろうとしている。 d: 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 e: 敬語に注意して正確に読み取る。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	史伝	教材: 『史記』 「荆軻」	○			◎	○	a: 人間や人間関係を生き生きと描いた史伝の魅力を味わおうとする。 d: 主人公の人物像を把握するとともに、同時代に生きた人物について理解する。 e: 漢文の句法を理解する。作品の時代背景を理解する。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト
	物語	教材: 『源氏物語』 「須磨」	○			◎	○	a: 「源氏物語」の内容や構成に関心を持ち、物語文学への理解を深めようとする。 d: 登場人物の行動や心情を的確に読み取る。 e: 読解に必要な敬語表現や助動詞などの文法知識を身につけている。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
2学期	物語	教材: 『源氏物語』 「若菜上」	○			◎	○	a: 「源氏物語」全体におけるこの巻の位置づけや作品の全体像の理解に努め、作品の主題や物語文学における本作品の位置づけを理解しようとする。 d: 人物関係や登場人物の心情を的確に読み取る。 e: 読解に必要な敬語表現や助動詞などの文法知識を身につけている。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	日記	教材: 『和泉式部日記』 「薫る香に」	○			◎	○	a: 日記を読んで、記された事柄や作者のものの見方・感じ方を的確に読み取ろうとする。 d: 和歌に込められた登場人物や作者の心情を正確に読み取り、内容を把握する。 e: 読解に必要な助動詞などの文法知識や和歌の修辞法を身につけている。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査

	思想	教材： 『老子』 「小国寡民」 『莊子』 「混沌」	○	◎	○	a:老荘思想の概要について、諸子百家における位置づけを含めて理解しようとする。 d:それぞれの話がどのような事を意味しているかを理解し、老荘思想の現代における意義を考察する。 e:漢文を読むことに必要な句法を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
三学期	歴史物語	教材： 『大鏡』 「肝だめし」	○	◎	○	a: 歴史物語の文学的位置づけをふまえて、その時代に生きた登場人物の人間像を理解しようとする。 d:歴史物語を読んで、登場人物の行動や心理を話の展開に即して読み取る。 e: 読解に必要な助動詞などの文法知識や和歌の修辞法を身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	評論	教材： 『無名抄』 「おもて歌」	○	◎	○	a:歌論を読んで、作者の思想や感情を読み取ろうとする。 d:文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 e:歌論中に取り上げられている和歌の修辞技巧を理解し、鑑賞する。 e:文法知識を身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力
d:読む能力 e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域「読むこと」に関わる観点には◎を付している。